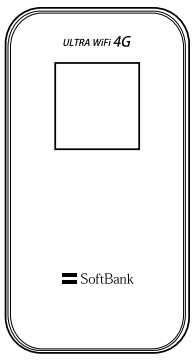
SoftBank

お願いとご注意 ― 重要なお知らせ ―

SoftBank 102Z



このたびは SoftBank 102Z をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- SoftBank 102Z をご利用の前に、「クイックスタート」、「お願いとご注意（本書）」および「取扱説明書」をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- 取扱説明書は、ソフトバンクモバイルホームページ（http://www.softbank.jp/mb/r/support/102z/）からご確認ください。
- SoftBank 102Z は、4G ／ 3G 方式に対応しております。
- SoftBank 4G は、第 3.5 世代移動通信システム以上の技術に対しても 4G の呼称を認めるという国際電気通信連合（ITU）の声明に基づきサービス名称として使用しています。

ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お問い合わせ先までご連絡ください。

マナーとルールを守り安全に使用しましょう

安全のために

こんな使い方はやめましょう。

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。
火災・けが・感電なのど事故または故障の原因となります。

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。
故障などの原因となります。

本機を加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH 調理器）の上に置いたりしないでください。
故障などの原因となります。

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光のあたる場所、炎天下の車内など）で使用・放置しないでください。
機器の変形・故障の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

本機を長時間ご使用になる場合や充電中など、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

マナーを守ろう！

安全のために使用が禁止されています。

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。
機内で本機が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。

病院、研究所など本機の使用が禁止されている場所では、使用しないでください。医療機器などに影響をおよぼす場合があります。

電車やバスなどの優先席近くでは使用しないでください。ペースメーカなど生命にかかわる機器に影響をおよぼすことがあります。

ゴルフ場など野外で雷鳴が聞こえたときは、落雷の恐れがありますので、使用しないでください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本機の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

表示の説明

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1 を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1 を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※2 を負う可能性が想定される場合および物的損害※3 のみの発生が想定される」内容です。

※1 重傷とは、失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをいう。
※2 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをいう。
※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指す。

絵表示の説明

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示します。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、USIM カード、AC アダプタ、micro USB ケーブルの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

指示 **本機に使用する AC アダプタ・micro USB ケーブルは、ソフトバンクが指定したものを使用してください。**
指定品以外のものを使用した場合は、漏液・発熱・破裂・発火や、AC アダプタの発熱・発火・故障などの原因となります。

分解禁止 **分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。**
火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。

水濡れ禁止 **濡らさないでください。**
水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた本機をパソコンに取り付けると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

禁止 **高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。**
また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所（密閉されたかばんやポケットの中、こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など）においても同様の危険がありますので、充電・使用・放置しないでください。
機器の変形・故障の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

禁止 **本機に AC アダプタ・micro USB ケーブルを接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。端子の向きを確かめてから、接続を行ってください。**
漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

⚠ 警告

禁止 **本機・AC アダプタ・micro USB ケーブルを加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH 調理器）の上に置いたりしないでください。**
漏液・発熱・破裂・発火や、本機・AC アダプタ・micro USB ケーブルの発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

指示 **プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、本機を使用しないでください。**
ガスに引火する恐れがあります。プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

禁止 **落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。**
故障などの原因となります。

指示 **使用中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、本機を接続したパソコンの電源をお切りください。**
異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

禁止 **外部接続端子に水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。**
ショートによる火災や故障などの原因となります。

⚠ 注意

禁止 **ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。**
落下して、けがや故障などの原因となります。

指示 **乳幼児の手の届かない場所に保管してください。**
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

指示 **子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。**
使用中においても指示どおりに使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。

本機の取り扱いについて

⚠ 危険

禁止 **火の中に投下しないでください。**
内蔵電池を漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。

禁止 **釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。**
内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示 **内蔵電池内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。**
失明などの原因となります。

⚠ 警告

禁止 **本機をズボンのポケットに入れたまま、座席や椅子に座らないでください。**
無理な力がかかるとディスプレイなどが破損し、発熱・発火・けがの原因となります。

指示 **高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機を使用しないでください。**
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植え込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

指示 **本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では本機を使用しないでください。**
機内で本機が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。

指示 **屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに屋内などの安全な場所に移動してください。**
落雷や感電の原因となります。

指示 **内蔵電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。**
皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。

指示 **所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。**
内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示 **ペットが噛みつかないようご注意ください。**
内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障・火災の原因となります。

⚠ 注意

指示 **不要になった本機は一般のゴミと一緒に捨てないでください。**
最寄りの「ソフトバンクショップ」へお持ちください。

禁止 **車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。**
本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。

指示 **本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。**
本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。

禁止 **本機に磁気カードなどを近づけないでください。**
キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

指示 **本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。**
長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

USIM カード、メモリカードの取り扱いについて

⚠ 注意

禁止 **メモリカードスロットにメモリカード以外のものを入れないでください。**
発熱・感電・故障の原因となります。

禁止 **メモリカードのデータ書き込み・読み出し中に、振動・衝撃を与えたり、メモリカードを取り出さないでください。**
データ消失・故障の原因となります。

禁止 **メモリカードは対応品以外のものを使用しないでください。**
データ消失・故障の原因となります。記憶容量が 32G バイトまでのメモリカードに対応しています。

禁止 **USIM カードの取り付けおよび取り外し時に無理な力を加えないでください。**
故障の原因となります。また、取り外しの際、手や指などを傷つけないようにご注意ください。

禁止 **USIM カードは指定以外のものを使用しないでください。**
指定以外のカードを使用すると、データの消失・故障の原因となります。

AC アダプタ、micro USB ケーブルの取り扱いについて

⚠ 警告

禁止 **充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。**
熱がこもって火災や故障などの原因となります。

禁止 **指定以外の電源・電圧で使用しないでください。**
指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。
AC アダプタ：AC100V ～ 240V
（家庭用 AC コンセント専用）
また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。
火災・感電・故障の原因となります。

電源プラグを抜く **長時間使用しない場合は、AC アダプタを持ってプラグをコンセントから抜いてください。**
感電・火災・故障の原因となります。

電源プラグを抜く **万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちに AC アダプタを持ってコンセントからプラグを抜いてください。**
感電・発煙・火災の原因となります。

指示 **プラグにほこりがついたときは、AC アダプタを持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などでふき取ってください。**
火災の原因となります。

指示 **AC アダプタをコンセントに差し込むときは、AC アダプタのプラグや micro USB ケーブルの端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。**
感電・ショート・火災などの原因となります。

濡れ手禁止 **濡れた手で AC アダプタのプラグを抜き差ししないでください。**
感電や故障などの原因となります。

禁止 **雷が鳴り出したら、AC アダプタには触れないでください。**
感電などの原因となります。

⚠ 注意

電源プラグを抜く **お手入れの際は、コンセントから、必ず AC アダプタを持ってプラグを抜いてください。**
感電などの原因となります。

指示 **AC アダプタをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、AC アダプタを持ってプラグを抜いてください。**
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。

禁止 **AC アダプタをコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。**
けがや故障の原因となります。

禁止 **汗をかいた手で触ったり、汗をかいて湿気のこもった衣服のポケットなどに入れないでください。**
汗や湿気によって内部が腐食し、発熱・故障の原因となることがあります。

禁止 **micro USB ケーブルを引っ張ったり、無理に曲げたり、巻きつけたりしないでください。**
また、傷つけたり、加工したり、上に物を載せたり、加熱したり、熱器具に近づけたりしないでください。
micro USB ケーブルの破損により感電・発熱・発火の原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠ 警告

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」（電波環境協議会）に準拠、ならびに「電波の医用機器などへの影響に関する調査研究報告書」（平成 13 年 3 月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

指示 **植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から 22cm 以上離して携行および使用してください。**
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示 **自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。**
電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

指示 **医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。**
- 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本機の電源を切ってください。
- ロビーなど、本機の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは、本機の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示 **満員電車などの混雑した場所にいるときは、本機を使用しないでください。**
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている方がいる可能性があります。
電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- SoftBank 4G サービスは、専用機種以外は利用できません。
- 本機はソフトウェアアップデートに対応しております。ソフトウェアは最新の状態でご利用ください。
- 本機は電波を利用しているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内、自動車内などでは電波が届きにくくなり、通信が困難になることがあります。また、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 回線の混雑状況や通信環境などにより、通信速度が低下、または通信できなくなる場合があります。
- 本機を公共の場所でご使用になるときは、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。また劇場や乗り物などによっては、ご使用できない場所がありますのでご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- 以下の場合、登録された情報内容が変化・消失することがあります。情報内容の変化・消失については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。
  - 誤った使いかたをしたとき
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
  - 動作中に電源を切ったとき
  - 故障したり、修理に出したとき
- 海外に持ち出す物によっては、「輸出貿易管理令および外国為替令に基づく規制貨物の非該当証明」という書類が必要な場合がありますが、本機を、旅行や短期出張で自己使用する目的で持ち出し、持ち帰る場合には、基本的に必要ありません。ただ、本機を他人に使わせたり譲渡する場合は、輸出許可が必要となる場合があります。また、米国政府の定める輸出規制国（キューバ、朝鮮民主主義人民共和国、イラン、スーダン、シリア）に持ち出す場合は、米国政府の輸出許可が必要となる場合があります。輸出法令の規制内容や手続きの詳細は、経済産業省安全保障貿易管理のホームページなどを参照してください。
- 爆発物を取り扱う場所、その近辺では本機を使用しないでください。爆発を誘発する恐れがあります。また、爆破装置などに影響を与える場合があります。
- 本機で利用する USIM カードは、一部機種（これまで当社より発売された機種を含む）ではご利用になれません。
- 充電中や長時間連続でご使用された場合、本機や AC アダプタが熱くなることがありますので、長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。取り扱いにはご注意ください。

航空機内でのご使用にあたって

- 本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では本機を使用しないでください。機内で本機が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。

お取り扱いについて

- 雨や雪の日、および湿気の多い場所でご使用になる場合、水に濡らさないよう十分ご注意ください。本機は防水仕様ではありません。
- 本機を極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所でご使用にならないでください。
- 本機を落としたり衝撃を与えたりしないでください。
- 本機をお手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。

Wi-Fi(無線 LAN)について

■ 無線 LAN に関するご注意

● 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線 LAN アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

● 周波数帯域について

本機の無線 LAN 機能が使用する周波数帯は、次のとおりです。

2.4DS4/OF4

2.4	:	周波数 2400MHz 帯を使用する無線装置です。
DS/OF	:	変調方式は DSSS、OFDM です。
4	:	想定される与干渉距離は 40m 以下です。
■■■	:	2400MHz ～ 2483.5MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避できることを示しています。

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

海外で無線 LAN をご利用される場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認のうえ、ご利用ください。

海外で無線 LAN をご利用される場合は、その国の法律に基づいた設定変更が必要となります。設定については、取扱説明書をご確認ください。

2.4GHz 機器使用上の注意事項

無線 LAN 搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家庭用電化製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいたうえで、混信回避のための処置（例えば、パーティションの設置など）を行うか、使用場所を変更してください。

■ 無線 LAN 利用時のセキュリティに関するご注意

無線 LAN は、LAN ケーブルの代わりに、電波を利用してパソコンなどの無線 LAN 端末と無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能になるという利点があります。

その反面、電波が届く範囲内であれば、障害物（壁など）を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合は、通信内容を盗み見られたり不正に侵入されたりするなどのセキュリティ上の問題が発生する可能性があります。本機は、お買い上げ時の状態でセキュリティ機能が働くように設定されています。ただし、安全性を考慮して、お買い上げ時のセキュリティ設定を変更してお使いになることをお勧めします。セキュリティ機能の設定方法については、取扱説明書およびお使いの無線 LAN 端末の取扱説明書を参照してください。

● 無線 LAN の仕様上、特殊な方法によってセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解いただいたうえでお使いください。

● セキュリティ設定などについて、お客様で対処できない場合には、**お問い合わせ先**までご相談ください。

● 無線 LAN 機能をご利用の際に、上記のようなセキュリティに関して発生するいかなる問題についても、当社は保証いたしかねますのでご了承ください。

知的財産権について

ZTE、ZTE 中興およびロゴは、ZTE Corporation の中国およびその他の国における商標または登録商標です。
Copyright © 2012 ZTE Corporation. All rights reserved.

SOFTBANK およびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

Microsoft®、Windows®、Internet Explorer、Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation 及びその他の国における登録商標です。Windows は Microsoft Windows operating system の略称として表記しています。

Apple、Apple のロゴ（Mac、Mac OS、Macintosh、QuickTime）は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
iPhone の商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。iPhone、iPad、Multi-Touch は Apple Inc. の登録商標です。
TM and © 2011 Apple Inc. All rights reserved.

「Android™」は、Google Inc. の商標または登録商標です。

Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-Fi Certified®、WPA™、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™ とそのロゴは、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。

PlayStation、PS3、PSP は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標または登録商標です。

ニンテンドー DS、ニンテンドー DSi、ニンテンドー DSi LL は、任天堂の登録商標です。
ニンテンドー 3DS およびニンテンドー Wi-Fi コネクションは、任天堂の商標です。

その他、本書に記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

本製品の比吸収率(SAR)について

この製品【102Z】は、電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この製品は、国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、この通信端末に対する SAR の許容値は 2.0W/kg です。この製品を次に記述する所定の使用法で使用した場合の SAR の最大値は 0.954W/kg です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

この製品を人体の近くでご使用になる場合
この製品を人体の近くでご使用になる場合、身体から 1.0 センチ以上離してご使用ください。このことにより、この製品は電波防護の国際ガイドラインに適合します。（※）
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

※携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合の SAR の測定法については、平成 22 年 3 月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。
・総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
・一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html

欧州における電波ばく露の影響に関する情報

この携帯電話機【102Z】は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器における SAR の許容値は 2W/kg で、身体に装着した場合の SAR の最高値は 0.954W/kg です。
SAR 測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。
世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
・世界保健機関（英文のみ）
http://www.who.int/emf
・SoftBank 各機種の電波比吸収率（SAR）一覧はこちら
http://mb.softbank.jp/mb/support/sar/

Specific Absorption Rate (SAR) Information for this Product

This product "102Z" meets international guidelines on radio wave protection.

This product is designed to abide by permitted levels for radio wave protection as recommended by international guidelines. These international guidelines are set forth by the World Health Organization in cooperation with the ICNIRP**, and the permitted levels provide a sufficient safety margin regardless of age and health of the user.
International guidelines define the permitted levels of exposure for radio wave protection by an averaged Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for this communication terminal is 2.0 watts/kilogram (W/kg). The highest SAR value for this product is 0.954 W/kg when used in the following prescribed manner. While there may be differences between the SAR levels of individual products, all products meet the permitted levels.

Use close to the body
To use this product close to the body, maintain a separation of 1.0 cm from the body. This will ensure this product meets international guidelines on radio wave protection. (*)
The World Health Organization has announced that "A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

* A method of measuring SAR when a mobile phone is used at positions other than at the ear was established in March 2010 through an international standard (IEC62209-2).
**International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

For more information about SAR, see the following websites:
- Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)
  http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm
- Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)
  http://www.arib-emf.org/index02.html (Japanese)

Electromagnetic Safety

For body worn operation, this mobile phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum 10 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0W/kg and the highest SAR value for this device when tested on the body is 0.954 W/kg*. As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.
The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile
devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the
mobile phone away from the head and body.

* Please see Electromagnetic Safety for important notes regarding body worn operation.

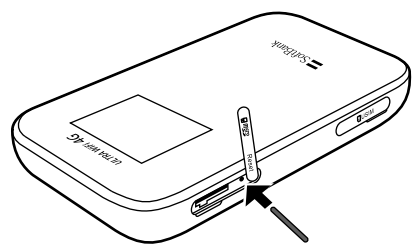
- World Health Organization
  http://www.who.int/emf
- List of Specific Absorption Rates (SAR) for radio waves by smartphone model
  http://mb.softbank.jp/mb/smartphone/support/product/sar.html (Japanese)

PIN コード設定

PIN（Personal Identification Number）は、不正ユーザーが USIM カードを利用することを防ぐために使われるコードです。
お買い上げ時の USIM カードは、PIN コード認証なし、PIN コードは「9999」に設定されています。
PIN コードの設定／変更方法については、取扱説明書を参照してください。

- 一度 PIN コード認証ありに設定すると、パソコンと接続して PIN コードを入力しないと本機を使用することはできません。ご注意ください。

本機の設定をリセットする



本機の設定をリセットするには、メモリカードスロットを開き、細い棒などでリセットボタンを押してください。
押すと本機の設定がリセットされ、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります。
SoftBank 102Z Utility からリセットすることもできます。

保証とアフターサービス

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。
- 修理を依頼される場合、**お問い合わせ先**または最寄りの**ソフトバンクショップ**へご相談ください。その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。
- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な内容などは控えを取っておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録されているデータや設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は、修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
- アフターサービスについてご不明な点は、最寄りの**ソフトバンクショップ**または**お問い合わせ先**までご連絡ください。

使用材料

使用箇所	材質、表面処理
フレーム	PC ／ ABS 樹脂、蒸着
前カバー	PC、IML
背面カバー	PC ／ ABS 樹脂、UV 塗装
電源ボタン	PC ／ ABS 樹脂、UV 塗装
INFO ボタン	PC ／ ABS 樹脂、UV 塗装
WPS ボタン	PC ／ ABS 樹脂、UV 塗装
メモリカードスロット	PC ／ ABS 樹脂、UV 塗装
リセットボタン	PC ／ ABS 樹脂、UV 塗装
USIM カードスロット	PC ／ ABS 樹脂、UV 塗装

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。
電話番号はお間違いのないようおかけください。

■ソフトバンクカスタマーサポート

総合案内：
ソフトバンク携帯電話から 157（無料）
一般電話から 0800-919-0157（無料）

紛失・故障受付：
ソフトバンク携帯電話から 113（無料）
一般電話から 0800-919-0113（無料）

IP 電話などでフリーコールが繋がらない場合は、恐れ入りますが下記の番号へおかけください。

東日本地域	022-380-4380（有料）
東海地域	052-388-2002（有料）
関西地域	06-7669-0180（有料）
中国・四国・九州・沖縄地域	092-687-0010（有料）

■データ通信サポート窓口

セットアップ、操作方法等についてのお問い合わせはこちら
受付時間　平日　9:00 ～ 19:00
土日祝　9:00 ～ 17:00
ソフトバンク携帯電話から＊5525（無料）
一般電話から 0088-21-5525（無料）

※海外からはご利用になれませんのでご了承ください。

■ソフトバンクモバイル国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失については、下記の番号へおかけください。

+81-3-5351-3491
（有料、ソフトバンク携帯電話からは無料）

■ZTE ジャパンのお客様サポートホームページ

http://www.zte.co.jp/products/handsets/handsets_gallery/

発売元：ソフトバンクモバイル株式会社
製造元：ZTE コーポレーション

2013 年 2 月　第 3 版